

補助金等評価調査書

必要性
公益性
将来性

番号	補助金等の名称	担当課名
29	女性の会事業補助金	生涯学習課

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

補助事業の位置付けの判断	委員評価		
	必要性	将来性	目的的重要性
交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的が市の施設造成に大きな役割を果たすものの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的が市の施設造成における程度の役割を果たすものの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的が市の施設造成とは関連が全くないものの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果が特定の個人や団体に限られるものの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会情勢の変化に伴いその効果が薄れています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

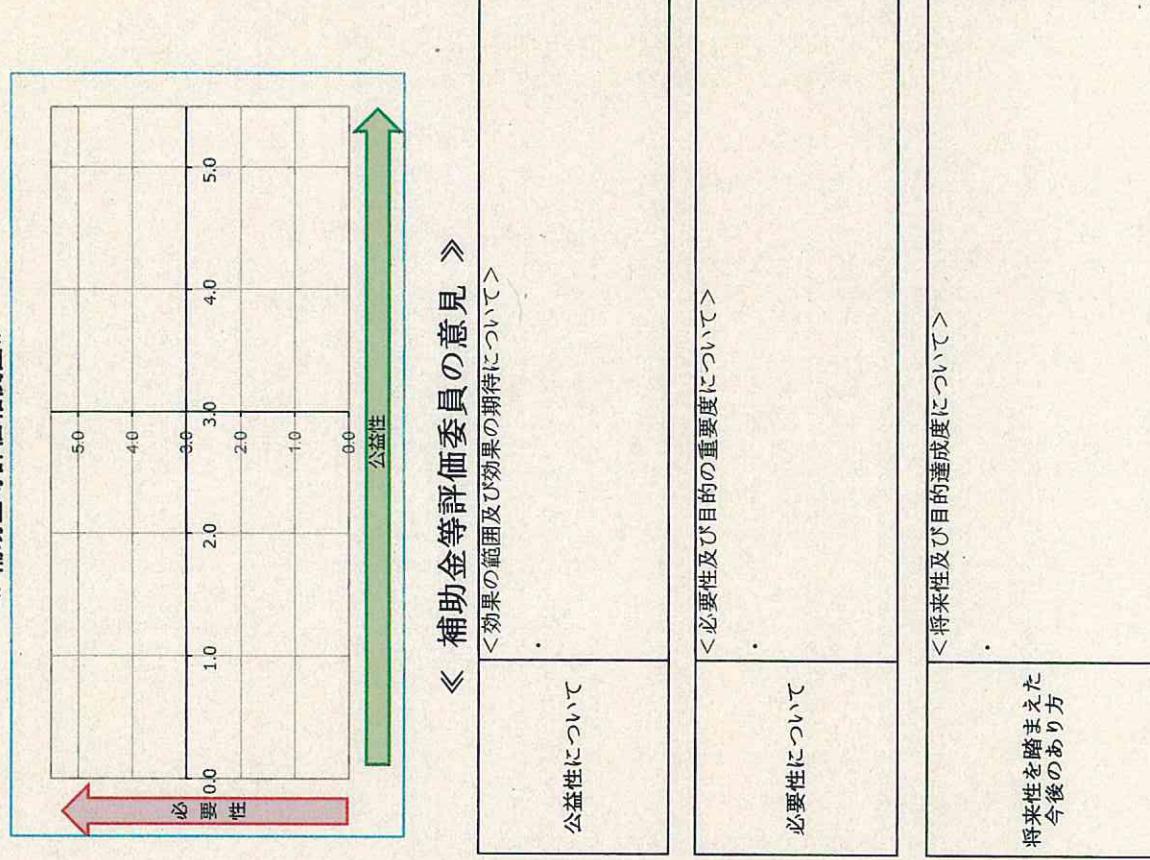
● 該当するもの全てにチェックしてください。

その他の評価	会計處理及運営が適切である。		
	経費的な観点	形態的な観点	団体についての評価
決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他市の同種、同額の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
形式的、賃借的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の用途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市の直接経費として計上することが適当ではない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
直接事業に係わらない観察旅行慰労料に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決算額に対して会議費等の割合が高くなっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

必要性を総論、公益性を横軸とする。
必要性、公益性の平均値をクロスさせます。
必要性と公共性のクロス位置に将来性の平均値を示す。

◀ 極端な評価



補助金等評価調査書

非公表	(委員名:)	担当課名
番号	補助金等の名称	生涯学習課
30	P T A連絡協議会事業補助金	

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

補助事業の位置付けの判断		委員評価
必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0
将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。 事業を続けてもその効果は現状と変わらない。 事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0
目的の重要度	目的が市の施設造成に大きな役割を果たすもの 目的が市の施設造成にある程度の役割を果たすもの 目的が市との施設造成とは関連が全くないものの 目的は達成しているが、開通が薄いもの	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0
目的達成度	目的は達成していないが、達成する見込みはある。 目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0
効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの 効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0
効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。 事業を実施するがその効果は現状と変わらない。 事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。 社会情勢の変化に伴いその効果が薄れています。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 1

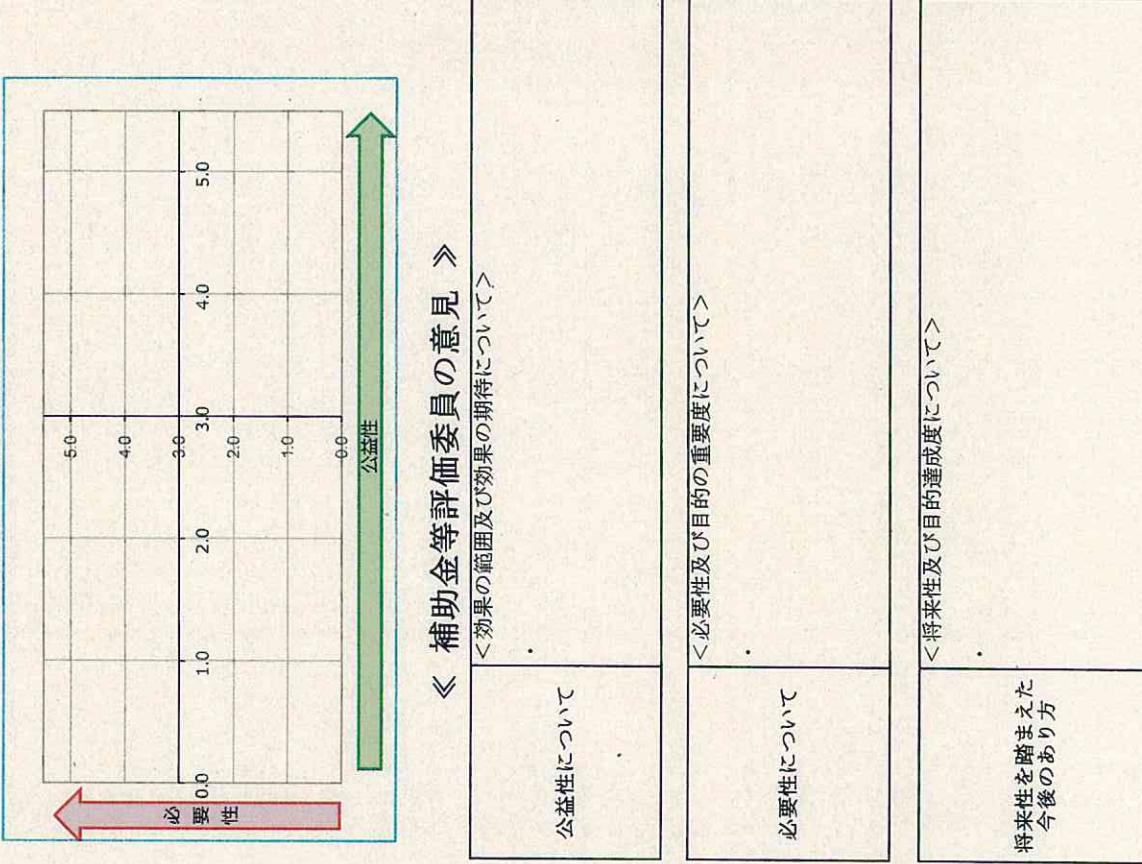
● 該当するもの全てにチェックしてください。

経費的な観点		会計處理及補助金が適切である。 決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。
その他の評価	他市の同種、同額の補助金等と比較して補助率や金額が妥出していない。 形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の用途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
形態的な観点	同一目的、類似事業がなく、整理統合することが困難なもの。 補助制度以外の方式に切り替えることが適当ではない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
団体についての評価	市の直接経費として計上することが適当ではない。 団体等が事業効果の向上に努力している。 交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。 直接事業に係わらない観察旅行慰労的に対しても交付していない。 団体経費の大半が運営費でない。 決算額に対して会議費等の割合が高くない。 会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。 自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。



« 補助金等評価相関図 »



補助金等評価調査書

必要性	…必要性、目的の重要度
公益性	…効果の範囲、効果の期待
将来性	…将来性、目的の達成度

委員名:	担当課名
番号	補助金等の名称
31	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業補助金
生涯学習課	

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

委員評価	
必要性	<input type="checkbox"/> 交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 <input type="checkbox"/> 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 <input type="checkbox"/> 交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。
将来性	<input type="checkbox"/> 事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を続けてもその効果は現状と変わらない。 <input type="checkbox"/> 事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。
目的の重要度	<input type="checkbox"/> 目的が市の施設達成に大きな役割を果たすもの <input type="checkbox"/> 目的が市の施設達成にある程度の役割を果たすもの <input type="checkbox"/> 目的が市の施設達成は関連が全くないものの
目的達成度	<input type="checkbox"/> 目的是達成しているが、更に拡大する余地がある。 <input type="checkbox"/> 目的是達成していないが、達成する見込みはある。 <input type="checkbox"/> 目的是達成終えている。
効果の範囲	<input type="checkbox"/> 効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの <input type="checkbox"/> 効果は適度に市民におよぶもの <input type="checkbox"/> 効果が特定の個人や団体に限られるものの
効果の期待	<input type="checkbox"/> 事業の実施に伴いその効果が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果は現状と変わらない。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。 <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。
補助金支出の適正性の判断	<input type="checkbox"/> 5 交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。 <input type="checkbox"/> 3 0 拠助事業を進めしていく上で、その事業効果の程度について評価します。 <input type="checkbox"/> 1 5 拠助事業が市の施策などによつうな関わりがあるのかについて評価します。 <input type="checkbox"/> 0 5 拠助事業が市の施策などによつうな関わりがあるのかについて評価します。 <input type="checkbox"/> 3 0 拠助事業の目的達成度を評価する（終期の設定との関わり）。 <input type="checkbox"/> 1 5 拠助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。 <input type="checkbox"/> 3 0 拠助事業内容の適正性を評価する。 <input type="checkbox"/> 1 0 拠助事業内容の適正性を評価する。

● 該当するもの全てにチェックしてください。

<必要性及び目的の重要度について>	
経費的な観点	<input type="checkbox"/> 会計處理及便益が適切である。 <input type="checkbox"/> 決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。 <input type="checkbox"/> 他市同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。 <input type="checkbox"/> 形式的、賃貸的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の便益が曖昧ではない。
形態的な観点	<input type="checkbox"/> 同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。 <input type="checkbox"/> 补助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。 <input type="checkbox"/> 市の直接運営として計上することが適当ではない。 <input type="checkbox"/> 団体等が事業効果の向上に努力している。 <input type="checkbox"/> 交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対する交付していない。 <input type="checkbox"/> 直接事業に係わらない観察旅行(慰労的)に対して交付していない。
その他評価	<input type="checkbox"/> 上記の観点に加えて団体の運営等に關する視点からも評価します。 <input type="checkbox"/> 将来性を踏まえた今後のあり方

* 「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

非公表

補助金等評価調査書

(委員名)	番号	補助金等の名称	担当課名
32	青少年相談員連絡協議会事業補助金（市上乗せ）	生涯学習課	

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

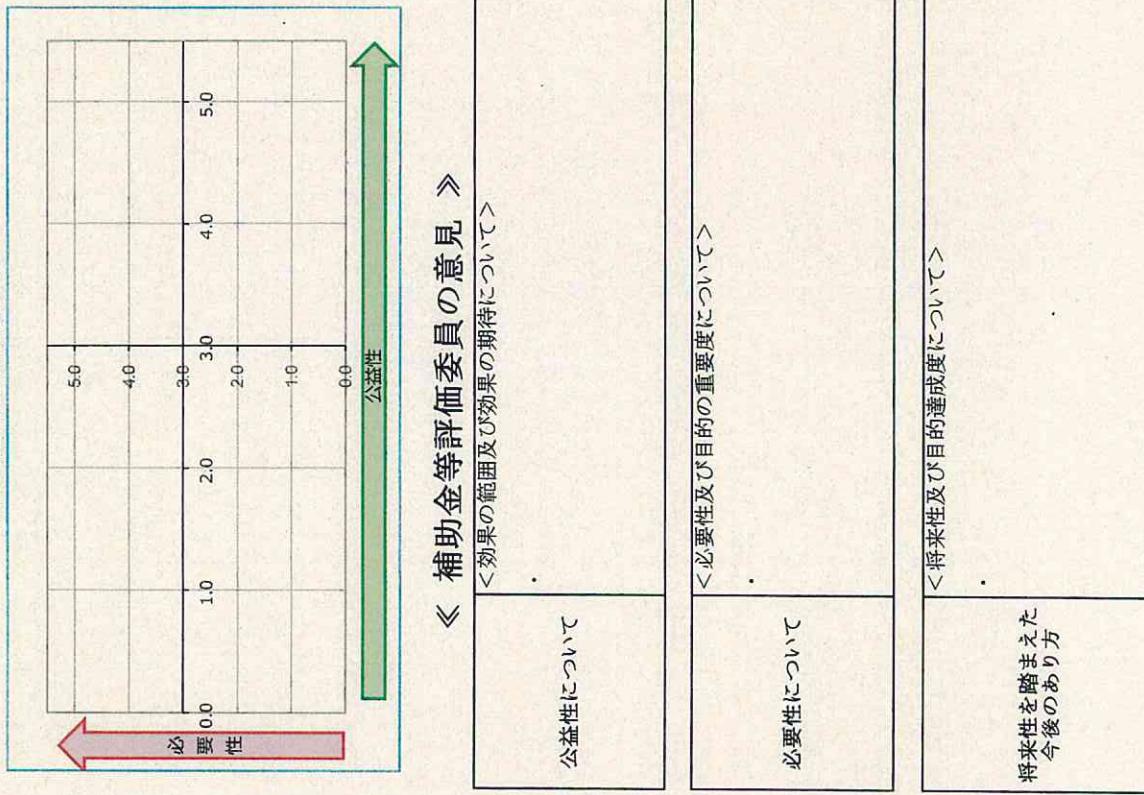
委員評価	
必要性	<input type="checkbox"/> 交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 <input type="checkbox"/> 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 <input type="checkbox"/> 交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。
将来性	<input type="checkbox"/> 事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を続けてもその効果は現状と変わらない。
目的の重要度	<input type="checkbox"/> 目的が市の施設造成に大きな役割を果たすもの <input type="checkbox"/> 目的が市の施設造成は関連が無いもの <input type="checkbox"/> 目的が市との施設造成は関連が全くないものの
目的達成度	<input type="checkbox"/> 目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。 <input type="checkbox"/> 目的は達成していないが、達成する見込みはある。 <input type="checkbox"/> 目的は達成し終えている。
効果の範囲	<input type="checkbox"/> 効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの <input type="checkbox"/> 効果は適度に市民におよぶもの <input type="checkbox"/> 効果が特定の個人や団体に限られるもの
効果の期待	<input type="checkbox"/> 事業の実施に伴いその効果が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果は現状と変わらない。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。 <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。

● 該当するもの全てにチェックしてください。

委員評価	
経費的な観点	<input type="checkbox"/> 会計處理及使用途が適切である。 <input type="checkbox"/> 決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。
形態的な観点	<input type="checkbox"/> 他の市同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。 <input type="checkbox"/> 他市の同種、同類の補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。
団体運営費	<input type="checkbox"/> 同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。 <input type="checkbox"/> 補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。 <input type="checkbox"/> 市の直接経費として計上することが適当ではない。 <input type="checkbox"/> 団体等が事業効果の向上に努力している。
その他の評価	<input type="checkbox"/> 交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。 <input type="checkbox"/> 直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。 <input type="checkbox"/> 団体経費の大半が運営費ではない。 <input type="checkbox"/> 法算額に対して会議費等の割合が高くない。 <input type="checkbox"/> 会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。 <input type="checkbox"/> 自主運営に移行する努力を行っている。

※「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

《補助金等評価相関図》



必要性を総論、公益性を横論とする。
必要性、公益性の平均値をクロス位置に将来性の平均値を示す。
必要性と公共性のクロス位置に将来性を示す。

…必要性、目的の重要度
…効果の範囲、効果の期待
…将来性、目的の達成度

必要性
公益性
将来性

非公表

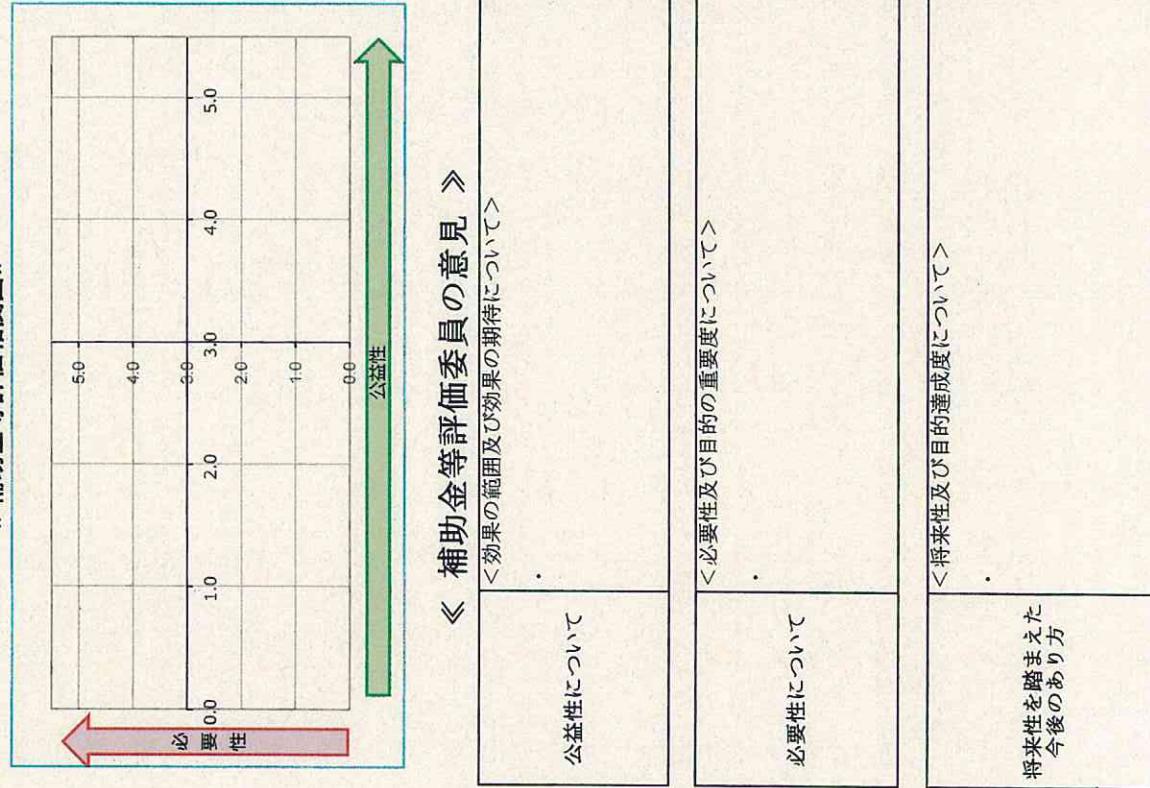
補助金等評価調査書

番号	補助金等の名称	委員名:
33	子ども会育成連絡協議会事業補助金	担当課名 生涯学習課

必要性を総論、公益性を横軸とする。
必要性、公益性の平均値をクロスさせ、
必要性と公益性のクロス位置に将来性の平均値を示す。

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。		● 評価項目		● 該当するもの全てにチェックしてください。	
補助事業の位置付けの判断	必要性	<input type="checkbox"/> 交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 <input type="checkbox"/> 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 <input type="checkbox"/> 交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 交付開始時よりも現在の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。	<input type="checkbox"/> 会計處理及び使途が適切である。 <input type="checkbox"/> 決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。 <input type="checkbox"/> 他の市同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/> 経費的な観点
目的的重要性	将来性	<input type="checkbox"/> 事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を続けてもその効果は現状と変わらない。 <input type="checkbox"/> 事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 补助事業を進めしていく上で、その事業効果の程度について評価します。	<input type="checkbox"/> 団体運営費	<input type="checkbox"/> その他の評価
目的達成度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 目標が市の施策達成に大きな役割を果たすものの <input type="checkbox"/> 目標が市の施策達成にある程度の役割を果たすものの <input type="checkbox"/> 目標が市の施策とは関連が全くないものの <input type="checkbox"/> 目標は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 补助事業が市の施策などどのように関わっているのかについて評価します。	<input type="checkbox"/> 上記の根拠に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。	<input type="checkbox"/> 将来性を踏まえた今後のあり方
補助金支出の適正性の判断	効果の範囲	<input type="checkbox"/> 効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの <input type="checkbox"/> 効果は適度に市民におよぶもの <input type="checkbox"/> 効果が特定の個人や団体に限られるものの	<input type="checkbox"/> 补助事業が市民に対して行政効果を生むのかを評価する。	<input type="checkbox"/> 上記の根拠に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。	<input type="checkbox"/> 将来性を踏まえた今後のあり方
	効果の期待	<input type="checkbox"/> 事業の実施に伴いその効果が期待できる。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果は現状と変わらない。 <input type="checkbox"/> 事業を実施するがその効果が上がるこれが期待できない。 <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 补助事業内容の適正性を評価する。		

《補助金等評価相関図》



* 「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に對して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

補助金等評価調査書

(委員名:)

補助金等の名称

担当課名

家庭教育学級事業補助金

生涯学習課

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

委員評価		<効果の範囲及び効果の期待について>		
補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 交付開始時と比較してもニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。
目的の重要度	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。 事業を続けてもその効果は現状と変わらない。 目的が市の施設達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
目的達成度	目的達成度	目的が市の施設達成にある程度の役割を果たすもの 目的が市の施設とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	補助事業が市の施設などどのように関わっているのかについて評価します。
補助金支出の適正性の判断	効果の範囲	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。 目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	補助事業の目的達成度を評価する(終期の設定との間わり)。
効果の期待	効果の期待	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの 効果は適度に市民におよぶもの 効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。
社会情勢の変化	社会情勢	事業の実施に伴いその効果が期待できる。 事業を実施するがその効果は現状と変わらない。 事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。 社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 0	補助事業内容の適正性を評価する。

● 該当するもの全てにチェックしてください。

会計處理及用途が適切である。		<必要性及び目的の重要度について>		
経費的な観点	その他の評価	決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。 他の市との同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。 形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の用途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	必要性について 個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
形態的な観点	団体運営費	同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。 補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。 市の直接経費として計上することが適当ではない。 団体等が事業効果の向上に努力している。 交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対する支給していない。 直接事業に係わらない根深旅行(慰労的)に対して支給していない。	<input type="checkbox"/>	将来性について 上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		団体運営費の大部分が運営費ではない。 決算額に対して会議費等の割合が高くない。 会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。 自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>	将来性を踏まえた今後のあり方

*「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

非公表

必要性	…必要性、目的の重要度
公益性	…効果の範囲、効果の期待
将来性	…将来性、目的の達成度

《補助金等評価相関図》

